

## 寄付のお礼

辺野古基金は今年4月で設立から6年目を迎えました。基金は、辺野古新基地建設に反対し「建白書の実現、普天間基地の閉鎖・撤去及び県内移設を断念させる運動（活動）の前進を図るために物心両面からの支援を行い、沖縄の未来を拓く」ことを目的に取り組んできました。寄せられた寄付金をもとに辺野古新基地建設に反対する県内各地の島ぐるみ会議や環境団体など全国で活動している様々な団体に対しても支援してきました。

これまでの辺野古現地ゲート前での座り込みや海上行動をはじめ、各種集会など県内だけでなく全国各地で辺野古新基地建設反対の取り組みにより、工事は菅政権や防衛局の思い通りには進んでいないのが現状です。

辺野古側の埋め立ては、県の試算で8月末現在の土砂投入量は全体の3.2%にとどまっています。しかも、大浦湾側の超軟弱地盤の工事は現在全く見通しが立っていない状況です。

沖縄防衛局が4月、大浦湾の軟弱地盤の改良工事を追加した設計変更申請書に対し、県に寄せられた意見書は1万8904件（10月9日、速報値）に上っています。これは2013年に当初の埋め立て承認申請書の際の約3千件の意見書の6倍にもなり、辺野古新基地建設問題への国内外の関心と注目の高まりを表しています。

県民の意思を無視した政府の強硬策に対し、私たちは「勝つまで諦めない」を合言葉に取り組みを強化して行くことを改めて決意しているところです。

今後とも辺野古基金へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月

辺野古基金

辺野古基金からのお詫びとお願い

基金事務局では郵便振り込み用紙や現金書留等、住所が確認できる皆様にはお礼状・領収書等を郵送させていただいております。しかし、銀行振り込み等については名前の記帳のみで「個人情報」上金融機関が住所等を明らかにしていただけません。そのためにお礼状や領収書の発送ができておりません。是非、銀行等を利用しての振り込みの際にはご一報いただければ基金としてもお礼状・領収書の発送をと考えております。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。